

製品名: STAT1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87478**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:1000-1:5000,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:87 kDa; Observed MW:87 kDa

抗原情報

遺伝子名	STAT1
別名	CANDF7; IMD31A; IMD31B; IMD31C; ISGF-3; STAT91
遺伝子 ID	6772
SwissProt ID	P42224
免疫原	ヒト STAT1 の組み換えタンパク質

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、STAT タンパク質ファミリーのメンバーです。サイトカインや増殖因子に反応し

て、STATファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成して細胞核に移行し、そこで転写活性化因子として作用します。このタンパク質は、インターフェロン α 、インターフェロン γ 、EGF、PDGF、IL6などの様々なリガンドによって活性化されます。このタンパク質は様々な遺伝子の発現を媒介し、様々な細胞刺激や病原体に対する細胞生存に重要であると考えられています。異なるアイソフォームをコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



STAT1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。